

まちづくり交付金 モニタリングシート
大豆島地区

平成23年8月

長野県長野市

様式3 モニタリング結果のまとめ

都道府県名	長野県	市町村名	長野市	地区名	大豆島
計画期間	平成22年度～平成24年度	まちづくり交付金交付期間	平成22年度～平成24年度		
モニタリング実施時期	平成23年8月				

1) 事業の進捗状況	著しい遅れのある事業の有無		同左事業名				
	●	なし あり					
2) 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況	指標		単位	達成度（モニタリング時）	達成見込みの有無 あり なし	達成見込みなしの場合の対応案	
	指標1	地域交流センターの講座受講者数	人/年度	△	●		
	指標2	子育て環境の満足度	ポイント	×		●	目標値を過大に設定したことにより、数値目標の達成が困難であるため、目標値の適正化を検討する。
	指標3	災害（地震・風水害等に備え対策をしている世帯数	%	○	●		
	指標4						
	指標5						
3) その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況	指標		単位	従前値	数値（モニタリング時）	効果発現の要因 総合所見	
	その他の数値指標1			基準年度			
	その他の数値指標2						
	その他の数値指標3						
4) 定量的に表現できない定性的な効果発現状況							
5) 実施過程の評価	評価項目	実施内容	実施状況			今後の対応方針等	
	住民参加プロセス	住民等による自発的・継続的なまちづくり活動	●	予定どおり実施できた		元気なまちづくり市民会議で説明するとともに、地区の広報誌への掲載を検討する。	
				予定していなかったが実施した			
				予定したがモニタリング時点では実施していない			
	持続的なまちづくり	まちづくりの目標達成に向けた情報公開、計画管理	●	予定どおり構築できた		防災講演会や視察研修を開催し、防災に対する意識を高める。 防災マップを作成し、災害等の発生に備える。	
				予定していなかったが構築した			
			予定したがモニタリング時点では構築していない				
6) モニタリングの所見	●	順調 計画・事業の進め方の改善が必要	コメント（改善点の概要）	事業は概ね計画どおりに進捗しているが、当初の数値目標の設定が不適切であったため、その達成は困難な見通しとなっている。事業計画を検証することにより、より効果的な事業の推進に努めるとともに、数値目標を適正化し、正確かつ確実な事業評価を実施したい。			

まちづくり交付金 モニタリングシート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(進捗状況)
- 添付様式2 都市再生整備計画変更の理由・指標への影響
- 添付様式3-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式3-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測
- 添付様式3-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式4-① 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式4-② 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式5-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式5-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式5-③ 数値目標を達成できていない指標にかかる効果発現要因の整理

(4) モニタリングの所見

- 添付様式6-① 総合所見
- 添付様式6-② 今後の事業の改善点

(5) 住民への公表

- 添付様式7 住民への公表

(6) 有識者からの意見聴取

- 添付様式8 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値	●		指標2:子育て環境の満足度の目標値 3.30ポイント	指標2:子育て環境の満足度の目標値 2.90ポイント	大豆島公園の整備、大豆島小増築工事が完了したが、指標の基準値(2.72ポイント)に比べ、モニタリングの結果0.03ポイントしか増加しなかったため、目標値を適正値に修正した。
D. その他()		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(進捗状況)

(単位:百万円)

基幹事業											
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要	変更された 目標との対応	実績(モニタリング時)		完成見込みの有無	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			事業費	進捗率(%)	あり	なし
道路	市道若里村山堤防線	60	L=180m	60	L=180m		-	39.9	66.5%	●	
高質空間形成施設	野外彫刻ながのミュージアム	5.4	1箇所	5.4	1箇所		-	5.1	94.4%	●	
高次都市施設	大豆島総合市民センター	346	705㎡	346	705㎡		-	124.9	36.1%	●	

注:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式2 都市再生整備計画変更の理由・指標への影響（特に大きな変更があった場合について）

事業	箇所名	変更した理由、目標・数値指標への影響

注：このシートは、計画が大きく変更となった路線、施設について記載すること。

添付様式3-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考) 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値 (モニタリング時) (エ)	達成度	達成見込みの有無		達成見込みがない場合の対応案 (注:添付様式5を踏まえて記述すること)
			基準年度	基準年度	基準年度	目標年度	あり	なし					
指標1	地域交流センターの講座受講者数	人/年度	2,973	H16	3,203	H20	3,839	H24	3,834	△	●		
指標2	子育て環境の満足度	ポイント	3.04	H18	2.72	H21	3.30	H24	2.75	×		●	実施事業に一定の効果は認められるが、過大な目標を設定したため、数値目標の達成が困難となっているため、目標値の適正化を検討する。
指標3	災害(地震・風水害等に備え対策をしている世帯数)	%	—	—	61.54	H19	75	H24	92.42	○	●		
指標4													
指標5													

※(参考)計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね5年程度前)の値のことをいう。

添付様式3-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標	単位	データの計測手法 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考) 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値 (モニタリング時) (ウ)	効果とみなし得る理由
			基準 年度		基準年 度			
その他の 数値指標1								
その他の 数値指標2								
その他の 数値指標3								

※(参考)計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね5年程度前)の値のことをいう。

添付様式3-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2)実施過程の評価（都市再生整備計画における記載有無に関わらず、実施した場合は必須）

添付様式4-① 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した予定内容	実施状況	実施結果	今後の対応方針等
事業の進捗状況等を住民に公表する。	● 予定どおり実施できた	元気なまちづくり市民会議(市内各地区で開催)において、事業の進捗状況や今後の予定等について説明した。	引き続き、元気なまちづくり市民会議で説明するとともに、地区の広報誌への掲載を検討する。
	○ 予定していなかったが実施した		
	○ 予定したがモニタリング時点では実施していない		

添付様式4-② 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した予定内容	実施状況	実施結果		今後の対応方針等
		①構築のための取組内容	②まちづくり組織名：組織の概要	
協働による安全安心なまちづくりを目指す。	● 予定どおり構築できた	防災講演会を開催し、自主防災について学ぶ。災害の被災地を視察し、災害直後の対応やその後の取り組み等について学ぶ。	大豆島地区住民自治協議会：環境美化部会、教育文化部会、安全防災部会等の下部組織があり、住民が主体となって様々な事業を実施	引き続き、防災講演会や視察研修を開催し、防災に対する意識を高める。防災マップを作成し、災害等の発生に備える。
	○ 予定していなかったが構築した			
	○ 予定したがモニタリング時点では構築していない			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式5-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	構成員	実施時期	担当部署
まちづくり交付金検討会議	・庶務課、第一庁舎・長野市民会館建設事務局、生活環境課、観光課、道路課、河川課、都市計画課、まちづくり推進課、駅周辺整備局、教育委員会総務課、生涯学習課、文化財課、消防局総務課	●モニタリングにかかる検討会議 ・平成23年10月13日 ●その他、定期会議、メール等による随時の情報交換を実施	都市計画課(都市再生整備計画主管課)

添付様式5-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標3						
指標名		地域交流センターの講座受講者数		災害(地震・風水害等に備え対策をしている世帯数)						
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	
基幹事業	市道若里村山堤防線	—	講座数の増加や拡充により、受講者数は増えたものの、大豆島総合市民センターが完成していないため目標値には達しなかった。	—	東日本大震災や栄村を中心とする地震など、自然災害が多発していること、防災訓練への参加や防災講演会の開催などにより、防災に対する意識が高くなっていること等により、災害に備えて簡単にできることを各家庭において取り組んだことによるものと考えられる。	—		—		
	野外彫刻ながのミュージアム	—		—		—				
	大豆島総合市民センター	C		—		—				
提案事業	大豆島児童センター	—		—		A		—		—
	防災意識啓発の研修・地区防災計画等	—		—		—		—		—
関連事業	大豆島公園整備事業(災害備蓄倉庫を含む)	—		—		—		—		—
	公共下水道事業(雨水)	—	—	—	—	—				
	大豆島小学校増築工事	—	—	—	—	—				

※指標改善への貢献度
A: 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
B: 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
C: 指標の改善に貢献しなかった。
—: 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので評価できない。

今後の活用			
-------	--	--	--

注: 都市再生整備計画で実施予定とした各事業を、事業名・箇所名の欄に記載してください。

添付様式5-③ 数値目標を達成できていない指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標2													
指標名		子育て環境の満足度													
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	要因の分類	指標改善への貢献度	総合所見	要因の分類	指標改善への貢献度	総合所見	要因の分類	指標改善への貢献度	総合所見	要因の分類		
基幹事業	市道若里村山堤防線	—	モニタリング実施時点では、大豆島小学校増築工事は終了しているが、大豆島児童センターが完成していない。また、大豆島総合市民センターも完成しておらず、子どもや子育て中の親を対象とした講座の充実がまだできていないため、数値が基準値とほとんど変わらなかった。	I											
	野外彫刻ながのミュージアム	—													
	大豆島総合市民センター	-a													
提案事業	大豆島児童センター	-a													
	防災意識啓発の研修・地区防災計画等	—													
関連事業	大豆島公園整備事業(災害備蓄倉庫を含む)	—													
	公共下水道事業(雨水)	—													
	大豆島小学校増築工事	c													

※指標改善への貢献度

- a: 事業が効果を発揮できず、指標の目標を達成できていない直接的な原因となった。
- b: 事業が効果を発揮できず、指標の目標を達成できていない間接的な原因となった。
- c: 指標の目標を達成できていない原因ではない。
- d: 事業が完成したが、期待通りの効果を発揮していない。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので評価できない。

改善の方針 (記入は必須)	<ul style="list-style-type: none"> ・大豆島児童センターの完成 ・大豆島総合市民センターの完成 ・地域交流センターで開催する各種講座の充実 ・数値目標の適正化による的確な進捗監視 			
------------------	--	--	--	--

注: 都市再生整備計画で実施予定とした各事業を、事業名・箇所名の欄に記載してください。

(4) モニタリングの所見

添付様式6-① 総合所見

総合所見	順調	コメント	事業は概ね計画どおりに進捗しているが、事業計画を検証することにより、より効果的な事業の推進に努めるとともに、数値目標を適正化し、正確かつ確実な事業評価を実施したい。
	● 計画・事業の進め方の改善が必要		

添付様式6-② 今後の事業の改善点

項目	具体項目	内容
事業の進め方の工夫		
都市再生整備計画の変更		
数値目標の適正化	子育て環境の満足度	現行目標3.30ポイントを2.90ポイントに適正化。過去のトレンドを踏まえた適切な数値目標を設定するもの。

(5) モニタリング原案の公表

添付様式7 モニタリング原案の公表

公表時期	公表方法

住民の意見	
-------	--

(6) 有識者からの意見聴取

添付様式8 有識者からの意見聴取

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署

有識者の意見	
--------	--